

平成 29 年度 理事長コメント集

NPO 法人 大阪アクティブシニア協会

2017 年

4 月

- ★2017 年 4 月 10 日大阪アクティブシニア協会事務所を移転し開設いたしました。高大のスタッフ増員に伴う事務所拡充を行う一環として実施しました。活動の内容が充実できるように願っている。皆さん お越しやす!



テープカット：左から和田、平澤
北田、佐藤 各理事長



新事務所内

- ★全労済から「おもちゃ作りのイベント」が平成 28 年度は大成功との評価をもたらした。今年度は更に共同で企画推進し、内容の豊かなものを目指し推し進めていきたい。
- ★第 7 回通常総会が 5 月 25 日(木)に開かれる予定である。役員改選期に当たり一部人選が変わる。新たな活動展開に向けての協力をお願いしたい。

5 月

- ★第 7 回通常総会が 5 月 25 日 14:30～16 時開催された。平成 29 年度は、正会員 22 団体およびサポートバンク・協賛会員 8 団体計 30 団体のグループにより運営されております。定款附則に個人正会員一口 3,000 円を新設しました。また、フェスタ 10 周年記念に向けて寄付金活動を強化していきたいと思っております。



佐藤理事長 開会あいさつ

より多くの方に参加していただき、自ら行動するアクティブシニアとして地域に密着した社会参加活動を展開していきたいと考えております。

6月

- ★第2回三役会を開催。アクティブシニアフェスタ2018 平成29年度の方針を内定。開催予定：2018年3月11日（日曜）
実行委員長に水間恭介副理事長を選び実行委員会を推進していく。
- ★アクティブシニアがあふれる大阪事業のフォローアップ研修を実施し、29年度に結びつける。
- ★平成29年度大阪出前サポートバンク事業
 - ①全労済事業の推進（2支店での開催などを手掛けている）
 - ②高齢者施設（船場デイサービス・・・）、小学校（北中道・・・）などへの派遣ボランティア活動を継続中
 - ③近畿労金（新規事業）（労金が介在して科学実験・おもちゃなどのイベントを実施予定）

7月

- ★第2回理事会開催：7月25日（火曜） 新任理事8名が加わり理事24名監事2名体制で運営していく。
- ① アクティブシニアフェスタ2018（第10回記念大会）は、大阪市立北区民センターの他に、島之内の大阪市立中央会館も候補にあがり検討中。8月1日から始まる実行委員会で日程・開催場所・費用について詰める予定。
- ②大阪出前サポートバンク事業を推進
 - ・高齢者施設（船場デイサービス・・・）20回実施
 - ・小学校（北中道・玉造・・・）などへの派遣サービス継続中。10回実施
 - ・全労済：新たに3支店で定期的開催を行っている。更に従来から行っている大規模なイベントも企画中。
 - ・近畿労金：今年度、新たにイベント子ども科学実験教室などを展開中。

8月

- ★8月三役会 ①アクティブシニアフェスタ2018の日程と会場を内定した。
開催日：2018年2月18日（日） 会場：大阪市立中央会館
演芸部門の充実と子ども事業を取り入れる。
- ②アクティブシニアがあふれる大阪事業フォローアップ研修を開催。
開催日：2017年10月9日（月） 会場：豊中市
- ③大阪出前サポートバンク事業は、全労済、いきいき教室、デイサービスで活発に活動を展開中である。
- ④正会員、賛助会員の入会勧誘強化を図りたい。

9月

★第3回定例理事会 9月26日 **アクティブシニアフェスタ 2018** の開催を決定。

開催日:2018年2月18日(日曜日)10時30分~15時30分

会場:大阪市立中央会館

テーマ:笑顔あふれるシニアと子どもの交流の集い

その他:出展・出演者(正会員・賛助会員は除く)からは参加料を頂戴する

10月よりチラシの配布を開始する。

★アクティブシニアがあふれる大阪事業 フォローアップ研修

10月9日(月:祝日)に豊中生活情報館くらし館にて30名規模で開催。

修了証書を参加者に手渡すように準備を進めている。

10月

★平成29年度アクティブシニアがあふれる大阪事業は、フレイル状況の早期発見と適切な介入による生活機能の維持・向上についてのフレイル予防サポーター養成講座および予防実技を開催する。

(フレイルとは、加齢とともに、心身の活力(筋力や認知機能など)が低下し、生活機能障害・要介護状態などの危険性が高くなった状態の事)

11月

★平成29年11月28日第4回定例理事会 OASAの事業見直し提案を行った。大阪府委託事業のアクティブシニアがあふれる大阪事業が平成29年度で終了となる。自立した運営が求められる。しかし、資金調達、人材育成の面でもはや困難となった。中間支援組織としての価値が生み出せないことが明白であり、平成30年3月をもってOASAの活動を別組織に委ねていくことにする。その具体的な検討に入る。出席者全員の賛意を確認。